

発掘成果をふりかえって 2022

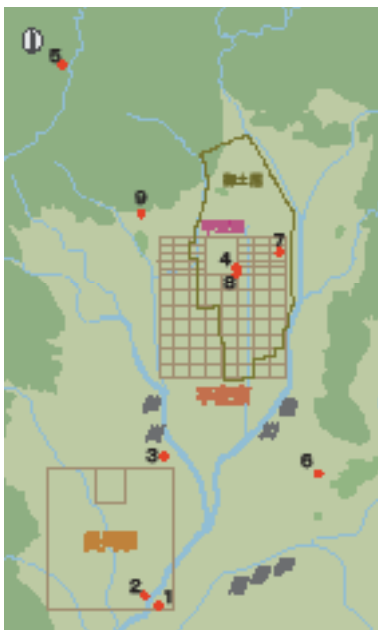
<http://www.kyoto-arc.or.jp>

(公財) 京都市埋蔵文化財研究所・京都市考古資料館



1 長岡京跡・淀城跡 伏見区淀池上町

淀城の東曲輪跡で、江戸時代後期の家老屋敷跡の礎石建物群と、鳥羽・伏見の戦いにともなう火災痕跡が淀城下で初めて検出されました。また屋敷地全体が 18 世紀後半に嵩上げされており、嵩上げ後に再建された礎石建物には、関西地方では珍しい「ろうそく基礎」(右上写真が断面) という軟弱地盤に対応した工法が採用されていたことが明らかになりました。



発掘調査の位置



2 長岡京跡・淀水垂大下津町遺跡 伏見区淀水垂町

淀城北西部の桂川右岸域に位置する調査地は、弥生時代から明治時代までの約 2000 年以上にわたって、人々の営みがほぼ途切れることなく続く稀有な遺跡であることが明らかになりました。遺跡周辺は平安京・京都の外港として栄えた「淀津」の推定地であり、検出した遺構は、これと関連する可能性が高いと考えられます。



3 大藪遺跡・下久世構跡 南区久世殿城町

弥生時代後期の溝と、長岡京期や室町時代の建物・溝などを検出しました。弥生時代後期の溝からは、完全な形に復元できる弥生土器が出土しました。



4 平安宮跡（主水司・醫院）・京都所司代下屋敷跡

上京区竹屋町通千本東入主税町ほか

検出した平安時代前期の土坑からは土師器や緑釉陶器などが多量に出土しました。



5 周山城跡 右京区京北周山町

周山城は明智光秀が天正9年（1581）頃に築城したと伝わる城です。城の中心部からみて東側の尾根筋に造成された曲輪の虎口を調査した結果、残存状況が良好な櫓台（やぐらだい）を検出しました。本調査は京都市文化財保護課による範囲確認調査です。



6 伏見城跡 伏見区桃山町

豊臣秀吉が木幡山に築いた伏見城築造当初の石垣を検出しました。石垣の崩落を防ぐため、割石を積み上げた石垣の裏込めとして板状の粘板岩を積み重ねるという特殊な工法が用いられていました。本調査は京都市文化財保護課による範囲確認調査です。



7 公家町遺跡（仙洞御所）・京都新城跡

上京区京都御苑（京都仙洞御所内）

江戸時代中期から近代の仙洞御所にともなう礎石列や石室、溝などを検出しました。



8 史跡旧二条離宮（二条城）

中京区二条通堀川西入二条城町

明治14年（1879）に描かれた幕末期の本丸仮御殿建物の基礎の可能性のある盛土遺構などを検出しました。



9 史跡仁和寺御所跡

右京区御室大内

江戸時代前期創建の中門と中門脇の土塀の基底部を調査したところ、固く叩きしめられた造成土で構築された基礎地業を検出しました。